

# 五色池通信

290 2010年 4月 28日 発行  
中土手に自然を戻す市民の会  
東京都江戸川区東小松川3-35-13-204  
〒132-0033 Tel 3654-7240 Fax 03-3654-7256  
ホームページ: <http://www.cleanaid.jp/nakadote/>



## 5月4～5日 GWは 中土手 五色池祭りへ

4月下旬というのに、真冬のような寒さがぶりがえすなど、「気候変動」を実感する日々が続いていますが、五色池は新緑が芽吹き、確実に春の訪れを告げています。

毎年恒例の五色池祭りの準備は整いました。炭焼き用の孟宗竹は、昨年暮れに小川さんが運んでいただき、倉庫で乾燥しています。薪は、昨年流木材をチェーンソーで切り、鉞(まさかり)で割って使っていますが、柳を剪定した枝も大量にあり、これも燃料として使えます。

まだ申し込んでいない方は至急御連絡ください。保険に登録しますので、参加者全員の名前をお知らせください。

テントを持参ください。無い方は早めに連絡ください。泊まらないで、2日間参加もOKです。



### この後の行事予定

- 5月16日 下平井水辺の楽校 10時～ (江戸川エコセンター自然学校)
- 5月17.18日 大滝ツアー 中津川 中津屋 1泊(実費約1万円)
- 6月20日(日) 中土手作業・観察会

### 進行予定

#### 5月4日 (第1日)

- 8:30 竹切と竹割り作業開始
- 10:00 全体集合 キャンプ村開村式
- 11:30 炭窯火入れ 薪(たきぎ)集め、薪割り  
タープ張り(ブルーシート)
- 12:00 昼飯(トン汁)
- 13:00 草刈り、テント張り
- 14:00 買出し、投網漁、ザリガに釣りなど
- 16:00 バーベキュー開始
- 22:00 宴会終了 子供たちは就寝

#### 5月5日 (第2日)

- 7:00 朝食準備・朝食
- 9:00 第2日開始
- 10:00 ダンゴづくり、クズ餅づくり  
遊び ザリガニ釣り、ヨシズ編み
- 12:00 昼飯
- 14:00 竹炭の掘り出し
- 14:30 後片付け、ゴミ拾い
- 15:00 閉村式 終了



ウシガエルを捕まえて丸焼きにして食べました。子供たちが、大騒ぎ!! 高山パパが「牛も豚も鳥も、みんなこのように殺して食べているんだよ。命あるものはすべて自然の恵み。それをありがたいと思っていただくことが大切!」と教えていました。

# タブノキとクスノキが自生

前号で五色池周辺で調査した樹木を報告したが、そのほかにタブノキとクスノキも自生していることがわかった。

タブノキはクスノキ科の常緑樹で、温暖な海岸に自生する在来種。荒川下流部に最もふさわしい樹木と言える。

前回の調査で、樹種は未定とした在来種のヤナギは「イヌコリヤナギ」でほぼ間違いないと思われる。右上の写真で、その葉を拡大した写真も掲載。

春先に葉より先に花をつけ、4月18日には白い綿毛をつけた種子が吹雪のように飛び交っていた。朝鮮半島でコウリを作るために栽培されたコリヤナギに似ているが、枝が曲がって役に立たないので、イヌコリヤナギという名前が付いている。前回、ネコヤナギとしたものも、正しくはこのイヌコリヤナギかもしれない。



シダレヤナギ



イヌコリヤナギ



## 困り者のクス

ばっこ

クスがいたるところで跋扈しており、いつも山本さんがその根を掘って、クス退治をしているが、これが非常に大変。写真は、4月4日の作業で大きなクスの根を掘りあげ、山本さんが持ち帰ってどなたかがくず粉とりに挑戦されたとか。



クスノキ



タブノキ

## とげが痛いピラカンサ

右下の写真はピラカンサ。冬に赤い実を付け、荒川の風物にもなっているが、鳥が食べて糞をすると、いたるところに生え、とげがたくさんあって刺さると腫れる困り者。子供たちが怪我をしないように全部切り取った。乾燥してから、焼却処分する予定である。



掘り出したクスの根（くず粉が採れる）



ピラカンサ

## キジバトの巣

中の島の柳の枝にキジバトが営巣し、抱卵中。そっと見守りたい。